

好きを極める場、創出

超高層「東急歌舞伎町タワー」

開業時期は来年4月

東急と東急レクリエーションは、東京・新宿の歌舞伎町で開発を進めている超高層複合施設「東急歌舞伎町タワー」の開業時期を来年4月に決定した。タワーは、新しいカテゴリー・グレードの2ホテルと、かつてこの地にあった映画館「新宿ミラノ座」の名前を継承する劇場、映画館、新宿エリア最大級のライブホールなど各種エンターテインメント施設などで構成。施設のコンセプト「好きを極める場」の創出を実現するような商品企画を具現化し、世界へ向けた新たな観光都市の拠点として、エンターテインメントシティ歌舞伎町の実現を目指す。

2ホテルと各種エンタメ

建物は地上48階・地下5階建て（塔屋1階）、建築面積約3600平方メートル、延べ床面積約8万7400平方メートル。外観は噴水をモチーフとしてい

る。同タワーの整備に合わせ、歌舞伎町一丁目地

区開発計画では、空港連絡バスの乗降場整備や、西武新宿駅前通りのリニューアルなどを行い、まちの回遊とにぎわい創出を図る。

ホテルは東急ホテルズが運営。18〜38階はエン

タメ施設との連動などで文化を感じられる「HOTEL GROOVE SHINJUKU（ホテルグルーヴ 新宿）」（638室）、39〜47階

は東急グループ最上級となる天空のラグジュアリー

1ホテル「BELLUS T&A TOKYO（ベルスター 東京）」（97室）となる。

エンタメ施設とホテルとの結節点となる17階に

は、テラスやパーティー

ルームなどを備え、街の

社交場としての役割を果たすレストラン&バーが

誕生。ラグジュアリーホ

テル45〜47階には、3層

吹き抜けの圧倒的な眺望

のレストラン、スパ、客

室を用意する。

地下1〜4階はライブ

ホール「Zapp（ゼップ） Shinjuku（TOKYO）」。全国

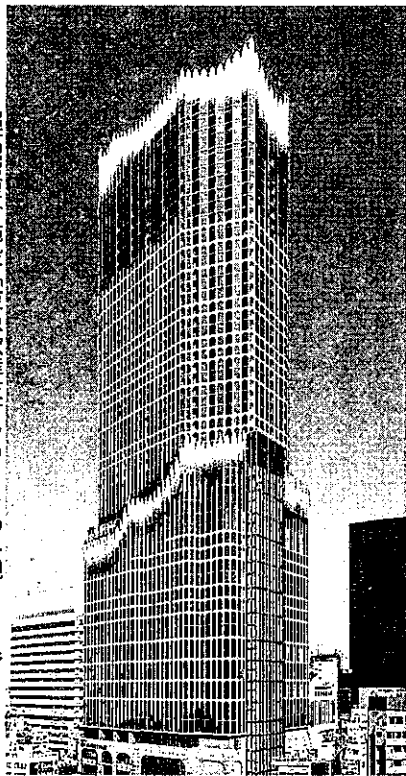
6都市8カ所で開催するゼップホールが新宿に登場。エリア最大級となる立ち席約1500人のキ

ャパシティーを持ち、360度LEDビジョンにより、ここでしか味わえない臨場感あふれる音楽体験を可能にする。

6〜8階は劇場「THEATER MILANOza（シアターミラノ座）」で、新宿ミラノ座の名を継承。約900席の空間で、演劇や音楽、映像など多彩なコンテンツを発信する。劇場とライブホールは、両社とソニー・ミュージックエンタテインメントが設立したTSTエンタテイメントが運営する。

9〜10階の映画館「109シネマズプレミアム新宿」は東急レクリエーションが運営。8スクリーン・合計752席、全席プレミアムシートで、ハイスペックな映写・音響設備を備える。一部に新宿エリア初の3面ワイドビューシアター「ScreenX」を導入する

ほか、映画にとどまらない多様なエンターテインメントコンテンツを届け



超高層複合施設「東急歌舞伎町タワー」の外観イメージ